

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」阪急桂駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切な人数を確保しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			新校舎に移転し、バリアフリー化が大きく進展しました
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		PDCAサイクルの本格導入には至っていませんが日常的な相談、協議により業務の改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			必要に応じて各種のアンケートを行い保護者等のご意向の確認と業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価結果は事業所内に掲示するほか当社HPで公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は利用者、事業所の二者評価を行っています。今後必要に応じて第三者による外部評価についても検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			初任者研修や全職員対象の定例研修を実施しています。行政等の研修にも積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメント評価および保護者からのヒアリングに基づきサービス計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内の統一様式にもとづき、目標ごとの達成度と課題を踏まえてお子さまの成長を評価しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			必要に応じて事例を共有、議論した上それぞれが立案しています。全社的なノウハウの蓄積システム「支援の工夫集」も整備しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お一人ずつのニーズにあわせオーダーメイドの療育を行っています。毎回のフィードバックで保護者のお声も十分に伺っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は回数の増加や時間の変更など柔軟な対応を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	個別活動により支援計画を作成しています。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、支援の段取りやスペースの割り振り等を協議する際、必要に応じ役割分担や連携について確認しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	緊急課題を除き、通常は翌朝にミーティング等で情報を共有しています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			社内統一の書式で毎回記録をとり、支援に生かしています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画期間（6か月）ごとにモニタリングを実施し、それに基づきサービス計画を見直しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			アセスメントをもとに複数の項目を組み合わせサービス計画を作成しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当指導員や児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	送迎がないため日常的なスケジュール調整は行っていません。必要に応じ保護者のご了解を得てお子さまの支援に関する情報共有を図っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				○	現在のところ医療ケアの必要なお子さまの受け入れは行っていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				○	保護者のご要望と園側との了承があれば積極的に連携を取らせていただきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				○	該当するケースがあれば保護者のご了解を頂いたうえ情報提供を行います。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				積極的な連携に努めています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	限られた時間のなかで地域交流は困難ですが、今後保護者のご希望を伺い検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				行政区や学区の協議会に積極的に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				フィードバックの際に保護者のお声を十分に伺い、お子さまの課題等に関する情報を共有し、支援に生かしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	プログラムとして確立していませんが、保護者のご相談には丁寧にお応えし、必要に応じアドバイスもさせていただきます。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にもれなくご説明するほか、事業所に運営規程等を掲示しています。利用者負担等は毎月の請求時にご説明しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援の機会以外にも必要に応じて保護者の子育ての悩み等のご相談に応じています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	イベント（集団活動）などを通じて保護者相互の情報共有や連携促進に努めています。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			管理者が苦情相談窓口になり、苦情等があれば迅速、適切に対応しています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報等は発行していませんが、ブログを随時更新するほか、必要に応じ保護者へのお知らせを配布させていただいています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			パスワードの設定、鍵付き書庫、シュレッダーの利用、職員研修等により個人情報の保護に留意しています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さまの特性に応じてアプローチを工夫しています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個別療育であり個人情報保護の問題もありますが、自治会にも加入しており地域交流の手法等を検討していきます。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、それに基づく対応に努めています。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月避難訓練等を実施しています。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルを策定し研修を実施しています。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			マニュアルを策定し研修を実施しています。やむを得ず身体拘束の必要が生じうるお子さまについては保護者のご理解を得たうえ個別支援計画に明記しています。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事やおやつの提供をしていません。
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例発生の場合は上司への報告、職場での情報共有を行い、再発の防止に努めています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」阪急桂駅前校 保護者等数（児童数）29（32）人 回収数 28人 割合 97%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			<p><ご意見> 足音を気にせず伸び伸び活動できるようになって良かった（5人）、広い場所に変わってよかった（3人）</p> <p><対応> 1階テナントに移転し療育環境が向上しましたが、道路に近いためお子さまの安全確保に努めてまいります</p>
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			<p><ご意見> 子どもにあった指導をもらっている（1人）</p> <p><対応> 今後とも職員の専門性の向上に努めてまいります</p>
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			<対応> 新校舎に移転しバリアフリー化が進展しました
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	○			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	○			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	<p><ご意見> 現状のままでよい（3人）</p> <p><対応> 個別指導であるうえ指導時間や個人情報保護などの制約もあり現在は交流できていません。交流不要とのお声もあることから、保護者のご希望を十分にうかがい、交流の在り方を検討していきます。</p>
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			<ご意見> 毎回のフィードバックが有難い（2人）
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			<p><ご意見> 学校のこと、進路のことなどよく相談にのってもらっている（3人）、子育てや発達障害の勉強会があるとよい（1人）</p> <p><対応> さらに保護者のご意見を伺って手法等を検討し、発達支援研究所の支援も受けながら質の高い情報の提供に努めていきます</p>
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			○	<p><ご意見> 特に必要性を感じない（3人）</p> <p><対応> さらにご意見をうかがい、イベント（集団活動）などを通じて保護者相互の情報共有や連携促進を検討してまいります。</p>

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報等は発行していませんが、ブログを随時更新する他、必要に応じ保護者へのお知らせを配布させていただきます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	○			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○			
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	○			<p><ご意見>とても楽しみにしている（４人）、先生と仲良く過ごせている（２人）、張り切って通っている（１人）</p> <p><対応> すべてのお子さまに「楽しい場所」、「楽しみながら課題に取り組める場所」と思っていたけようさらに努力してまいります。</p>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	○			<p><ご意見> 個別療育がよい（５人）、とても満足している（３人）、子どもの成長を感じる（２人）学習意欲がわいてきた（１人）、子どものことを考えた提案ありがたい（１人）、国語力が伸びている（１人）、先生が何度か変わったがどの先生も優しく熱心である（１人）</p> <p><対応> 保護者のお声を幅広く伺いながら支援の質の一層の向上に努めてまいります。</p>

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。